

コード	201040602
記入日	H21.6.5

事務事業途中評価表

課コード	113
課名	環境課
課長名	白石英穂
担当者	平田竹喜

作成年度	平成 21 年度
------	----------

評価対象事業名称	旧ごみ焼却場跡地有効活用事業	事業種類	継続事業
		事業期間	平成 20 年度 ~ 平成 23 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	2	政策名称	安全、便利、快適な生活環境づくり	款コード	4
施策コード	201	施策名称	しまの自然とともに生きる環境づくり	項コード	2
基本事業コード	20104	基本事業名称	ごみ減量化とリサイクルの推進	目コード	2
事務事業コード	2010406	事務事業名称	ごみ焼却施設管理費	細目コード	1050
関連計画	新上五島町一般廃棄物処理基本計画・循環型社会形成推進地域計画		法令・条例規則等	廃棄物処理法	

計画 (PLAN)		※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。										
対象: 誰、何を対象にしているのか			対象指標: 対象の大きさを表す指標									
(対象1)		旧ごみ焼却施設	(対象指標1)		8施設							
(対象2)		ストックヤード	(対象指標2)		8施設							
事業の概要: 具体的なやり方、手順、詳細を記入			活動指標: 事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段: 全体、下段: 評価年度)									
(全体)		(評価年度実績)		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)				
旧ごみ焼却施設 8施設 ストックヤード 8施設		平成20年度 旧ごみ焼却施設解体 2施設 ストックヤード 2施設		既存施設数		8施設	100%	既存施設÷解体施設	平成23年度			
				解体施設数		2施設	0%		*****			
				①		(達成率分析)		各年度に2施設を実施するが、H20年度建設予定事業は継続事業のため、完成は平成21年度に予定				
				②		ストックヤード建設予定数		8施設	100%	ストックヤード建設数÷建設予定数	平成23年度	
						ストックヤード建設数		0施設	0%		*****	
						(達成率分析)		各年度に2施設を実施するが、H20年度建設予定事業は継続事業のため、完成は平成21年度に予定				
				目的: 何をしたいのか			成果指標: 目的の達成度を表す指標・達成率 (上段: 全体、下段: 評価年度)					
				旧町時から残存していた旧ごみ焼却施設を解体し、漂流・漂着ごみとスラグの一時保管場所(ストックヤード)を建設する。			(指標名称)		(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
							①					
(達成率分析)												
②												
(達成率分析)												

実施 (DO) ※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。											
	単位	全体計画		平成19年度以前	平成20年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 施設	8	0	0	2	0	4	2	2		
	② 施設	8	0	0	2	0	4	2	2		
成果指標	①										
	②										
総事業費C (A+B)		千円	931,400	176,185		146,900	176,185	254,200	284,100	246,200	
直接事業費 A		千円	903,400	169,185		139,900	169,185	247,200	277,100	239,200	
人件費 B		千円	28,000	7,000		7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	
内訳	従事職員数	人	4.0	1.0		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円	301,132	52,728		46,633	52,728	82,400	92,366	79,733	
	県補助金	千円	98,382	14,893		31,800	14,893	11,960	28,310	26,312	
	起債	千円	477,300	100,000		58,300	100,000	145,000	148,000	126,000	
	その他	千円									
	一般財源	千円	54,586	8,564		10,167	8,564	14,840	15,424	14,155	

評価(CHECK) ※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要がありますか。	● ある ● ない	理由	ダイオキシン類の汚染物が残存しており、施設の周辺環境に悪影響を及ぼすため。
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	● ある ● ない	理由	使用しなくなった施設をそのままにしておくことはできない。
	事業の対象・目的は適切ですか。	● 適切 ● 不適切	理由	汚染物が残存している施設であるため適切である。
有効性	現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる ● いない	理由	順次、汚染物が残存した施設を解体していることから、成果は十分にある。
	成果を向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理由	現在の計画で十分成果は得られる。
	事業を行わない場合の影響はありますか。	● ある ● ない	理由	汚染物が残存している施設なので、周辺環境を悪化させる危険性がある。
	類似事業との整理統合はできませんか。	● できる ● できない	理由	類似事業がない。
効率性	直接事業費を削減することはできませんか。	● できる ● できない	理由	削減項目がない。
	人件費を削減することはできませんか。	● できる ● できない	理由	最低限の職員数である。
	受益者負担は適正ですか。	● はい ● いいえ	理由	受益者負担はない。

改善(ACTION)

改善策	1次評価	妥当性	適切である。
		有効性	適切である。
		効率性	適切である。
	2次評価	妥当性	1次評価のとおりの
		有効性	使用不能の施設であり解体し、ストックヤードとしての利用整備は有効である。
		効率性	経費の適正な執行に努めること。

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●	●		このまま事業を継続				類似事業と整理統合
				事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。